

## 大学院保健医療学研究科医療技術科学専攻における

### 「感染症専門検査技師養成プログラム」の新設（令和5年度）について

#### 1. 背景

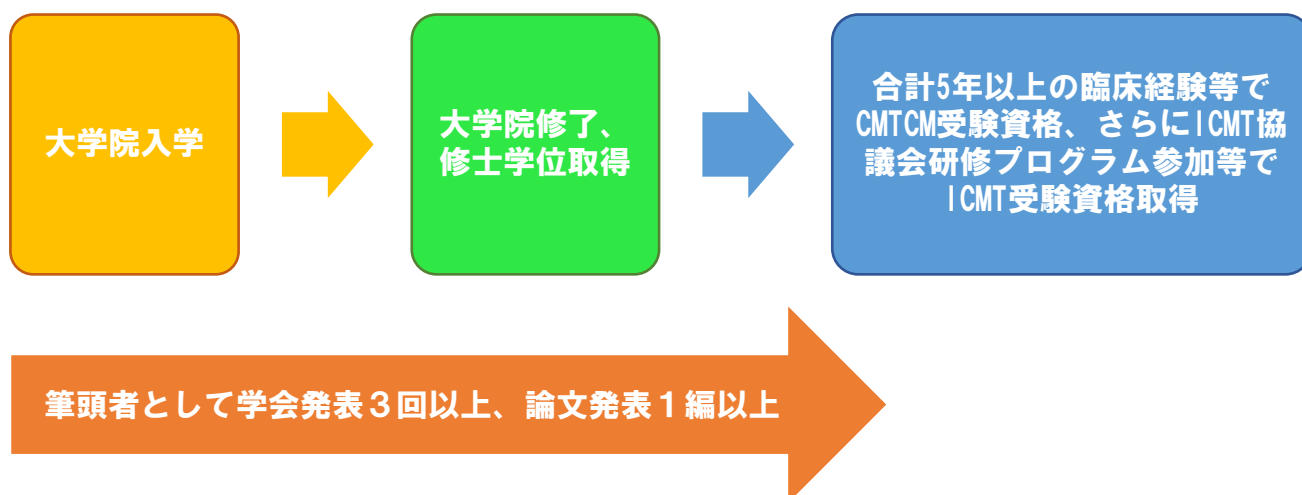
今般、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）をはじめとする新興・再興感染症や薬剤耐性菌感染症の増加など、本邦における感染症問題は劇的に変化しています。それに伴い、多様な感染症問題に迅速に対応できる医療人材の不足や検査体制の不備などが重大な課題となっており、感染症に対する高度な知識と技能を備えた臨床検査技師の育成が急務となっています。

#### 2. 目的

令和5年度から本学大学院保健医療学研究科医療技術科学専攻に「感染症専門検査技師養成プログラム」を新たに開設し、愛媛県をはじめ、日本の感染症医療現場で活躍できる高度な知識と実践的な技能を備えた医療人を育成することを目的とします。

#### 3. 「感染症専門検査技師養成プログラム」の特色

- ・ 最先端の多彩な講義で、感染症の基礎から臨床まで学べます。
- ・ 連携医療機関で病院実習を行い、微生物検査および感染制御に関する実践的なスキルが習得できます。
- ・ 感染症に関連した研究を行い、学会などで成果を発表し修士論文を作成します。
- ・ 「認定臨床微生物検査技師(CMTCM)」や「感染制御認定臨床微生物検査技師(ICMT)」の資格取得を目指します。



\* 予定担当教員：安川正貴学長、美間健彦教授、山田武司教授、竹内一人教授、愛媛大学宮本仁志先生、岡山理科大学、愛媛県立衛生環境研究所

\* 予定実習先：愛媛大学医学部附属病院、愛媛県立衛生環境研究所